

SDGsの取り組み



6 安全な水とトイレ
を世界中に

環境に配慮した「水なし印刷」印刷時に有害な廃液を排出しない「水なし印刷」を採用しています。この方式で印刷された環境にやさしい製品にはバタフライロゴマークが付与されています。



紙だけじゃない
様々な「伝える技術」

印刷会社は名刺や封筒、冊子といった紙の印刷を行うイメージが強くありますが、新生社印刷では多様化するニーズに柔軟に対応しており、看板やTシャツ、車へのラッピング、マグカップやうちわなどのオリジナルノベルティの製作など多岐にわたる印刷・製作業務を行っています。



まちのおしごと
やってみたい仕事が見つけよう!
VOL.1



株式会社 新生社印刷

- 住所 鹿屋市札元1丁目 22-34
- 電話 0994-43-2238
- 創業 昭和13年 ○代表者 岡崎 洋人
- 従業員数 70人 ○平均年齢 41.5歳
- 勤務時間 7時間45分
- 採用実績 1人(令和3年度)
- 福利厚生 各種保険(雇用、健康、厚生年金、労災)、独身寮、研修センター、社員旅行 など



デジタル技術の発展にあわせて、ホームページの作成や電子書籍の取り扱いも行っていき、デジタルサイネージ(電子看板)を活用した情報のアピールについても相談を受けています。また、AR(拡張現実)コンテンツへの対応も行っており、任意の画像を二次元コードとして利用できるため、今までのように何度も印刷物を作り変える必要もなくなります。

必要な方や社会に対し、暮らしに必要な情報を迅速かつ適切にお届けし、お客様や地域社会の架け橋となるよう、新生社印刷は次代に沿ったサービスを提供し続けます。



▲デジタルサイネージ(電子看板)

謙虚に取り組む

「つくる」ために

私も、新生社グループは、昭和13年鹿屋の地で始まり、鹿児島県各地を中心に九州一円、北は福岡から南は奄美まで23店舗で、地域の皆様のお手伝いをさせていただいております。

紙への印刷だけでなく、近年の情報発信の多角化にもいち早く対応し、ホームページの作成、ネット広告、デジタルサイネージ(電子看板)、AR(拡張現実)、オリジナルウェア、ノベルティグッズなど、情報発信においては全て弊社に一括してお任せいただける、お客様にとってのワンストップカンパニーとして、多岐に渡る商品を提供させていただいております。

また、情報セキュリティ管理にも注力しており、情報資産の機密を守り安全に利用できる仕組みを整え、平成17年には情報管理の国際評価基準であるISO27001を取得し、情報管理の厳格化を進

めてきました。最近では、地球温暖化防止にはじまるSDGsの取り組みも進めております。印刷における持続可能な社会貢献の一環として水なし印刷の採用や紙のリサイクルの徹底のほか、働きやすい職場づくりや地域貢献活動などCSR(企業の社会的責任)にも取り組み、地球資源の保護にも貢献できるよう日々努力しています。

これまでの『ものづくり』に加え、その先にある形のないお客様のご要望にお応えする『コトづくり』にも挑戦し、社員、お客様、地域、会社のそれぞれが互いに力を紡ぎ、より良い未来に向けて進んでいけるようこれからも取り組んで参ります。



株式会社 新生社印刷
おかざき ひろと
岡崎 洋人 代表取締役



筑豊ラーメン山小屋鹿屋店

〒893-0013
鹿屋市札元2丁目 3687-2
☎0994-36-8061
店休日 第1・3水曜日
営業時間 11時~21時



「近場のお薦めスポット」

ラーメンが好きでよく食べに行きますが、特に好きなラーメン屋さんが「筑豊ラーメン山小屋」です。こつてりしたラーメンが好きなので、会社から近く、濃厚なとんこつラーメンが味わえるこの店はとてもうれしい存在です。

好きなメニューは一番人気の「昭和ラーメン」。シンプルに豚骨のみを使い、時間をかけてじっくり煮込むことで旨味を出しており、どこか懐かしい感じのするラーメンです。昼から夜まで開いているので、夕方でもラーメンを食べられます。

総務課
さかくち ゆうや
坂口 侑也 さん
(25歳/入社5年目)

鹿屋出身で、鹿屋中央高校卒業。休日は映画鑑賞や漫画を読んだりして過ごす。チョコが好きで家でもよく食べる。好きな紙質は、和紙のような手触りの「皮しば」。



「私の仕事」

私は事務職として入社し、電話受付、名刺やチラシなどの受注対応といった総務全般の仕事に加え、経理も行っています。

私自身人見知りですが、最初は人と話すことが苦手でしたが、克服することができ、仕事を通して成長できたと感じています。

弊社は祝日もしっかり休みをもらうことができ、とても働きやすい環境だと思っています。

印刷といえば新生社印刷と想ってもらえるように、今後は看板やのぼり、Tシャツへのプリントなど、紙への印刷以外のことも多くの人に知ってもらえるよう取り組んでいきたいです。